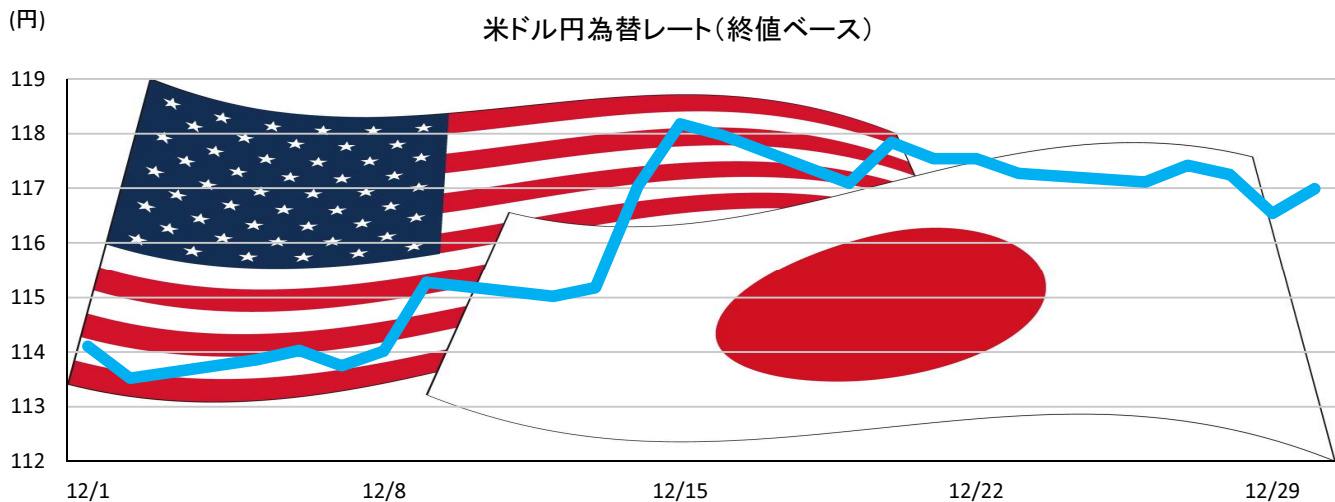


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 12月のドル円相場は、112円後半～118円半ばで推移。懸念されていたOPEC総会で減産合意となり、リスク選好が加速。しかし、イタリアの国民投票で憲法改正案が否決されたことからリスク回避の動きとなったものの、ドラギECB総裁が定例記者会見で緩和姿勢を強調したことでユーロドルが急落したことやトランプノミクスへの期待感やFOMCでの利上げ期待感もリスク選好を後押しすることとなった。月中のFOMCにおいて実際に利上げが行われたことによりドル買いが加速、118円台まで円安ドル高が進んだ。その後はクリスマス休暇や年末年始を控えていたことからドル買い継続とはならず、円安ドル高水準で一進一退の動きとなった。



EXTRA VISION

今後の展開: トランプノミクスと呼ばれるほどの動きを見せ、トランプ氏への期待感があつた12月の相場であるが、米国利上げ期待感も合わさった複合的な要因だった。実際に米国利上げ発表後に118円台まで駆け上がったものの、結果的には頭打ちとなっている。もちろんクリスマス休暇や年末年始を控えていたため投資を手控えたともいえるが、トランプ氏の政策に光と影があるからではないだろうか。財政出動や減税を行えば米国経済に期待できるが、保護主義的な政策は場合によっては世界経済の足を引っ張りかねない。もちろん実際に大統領に就任すれば経済政策などは調整してくると思われるが、これからはトランプ氏の実行力が問われることになるだろう。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
1 / 19 (木)	21 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
1 / 20 (金)	** : **	US	米国大統領就任式	☆☆☆☆☆
1 / 27 (金)	22 : 30	US	米国GDP速報値	☆☆☆☆
1 / 31 (火)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
2 / 1 (水)	4 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
2 / 2 (木)	21 : 00	GB	英中銀政策金利発表	☆☆☆☆
2 / 3 (金)	22 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆